

## 令和5年度鳥取県立図書館特別資料展

近代的な新聞が鳥取の地で発行されて、今年で150年を迎えました。

この資料展では、日本における「新聞」の歴史と、何を伝えてきたかについて、所蔵資料を通じて紹介します。新聞の役割や文字・活字文化について、考えてみましょう。

— 会期 —

2023

7/20(木)

2023

9/13(水)

— 休館日 —

7/31(月) 8/10(木) 8/31(月)

— 開館時間 —

火～金  
午前9時～午後7時  
土・日・月・祝日  
午前9時～午後5時

— 会場 —

鳥取県立図書館  
2階 特別資料展示室

新聞が伝える  
ふるさと



【主催】鳥取県立図書館 【後援】山陰中央新報社、新日本海新聞社(50音順)

関連  
企画

講座

夏休み図書館まつり

「新聞の役割について考えよう」

参加無料  
要申込

- 日時 7月26日(水)午前10時～正午
- 会場 鳥取県立図書館2階大研修室
- 講師 新日本海新聞社 記者
- 対象 小学5年生から中学生

— 内容 —

- ・新聞記者のお話を聞こう
- ・記事に見出しを付けてみよう
- ・出発！オンライン印刷所見学
- ・特別資料展解説(当館職員)

\*お申込みは、県立図書館まで。申込方法は、裏面に掲載しています。

# 展示内容

表面掲載画像「けんみん新聞」創刊号(館蔵)

## ▶ 日本における「新聞の誕生」

「よみうり」、瓦版、そして「新聞」へ。  
江戸期の「新聞」や明治初年の冊子型「新聞」、情報の伝播の姿である「抄録」「日誌」を紹介します。

## ▶ 鳥取県の新聞のはじまり

鳥取の最初期の新聞媒体(鳥取県新報、米子新聞など)を紹介します。

## ▶ 鳥取と英字新聞

日本人が手掛けた英字新聞のはじまりには、鳥取県人にも関わりがありました。初代ジャパン・タイムズ社長山田季治の県人人脈が大きな役割を果たしました。後に社長となる、主筆頭本元貞の事績も紹介します。

## ▶ 新聞人と地域文化

鳥取の文化面で活躍した人物を中心に紹介します。

## ▶ 新聞製作の変遷

印刷機械の変遷と現在の印刷機的能力などを紹介します。また、マイクロフィルム(フィッシュ)、DB(検索体験)などの各種媒体とその特長も紹介します。

## ▶ なつかしの記事

「オリンピック」、「わかとり国体」、「たまごっち」など、社会をにぎわせた社会事象について、当時の新聞記事を展示します。

### [問い合わせ・申込み]

**鳥取県立図書館** (担当：郷土資料課)  
〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101  
電話 0857-26-8155 (代表)  
ファクシミリ 0857-22-2996  
メールアドレス kyodo@library.pref.tottori.jp

### 【本展の準備にあたり、ご協力いただいた機関】

山陰中央新報社  
新日本海新聞社  
鳥取県立博物館  
鳥取市立中央図書館  
米子市立図書館 (50音順)

✂キリトリ線

夏休み図書館まつり「新聞の役割について考えよう」(7月26日・水) 参加申込書

フリガナ										電話	
お名前	(学年 )										
フリガナ										電話	
お名前	(学年 )										

\*いただいた個人情報は、本講座に限り使用します。申込方法は、窓口・電話・ファクシミリ・メールです。